



2024年9月3日<速報版>

発行人： 全広島教職員組合(全教広島) 情報宣伝部
〒732-0052 広島市東区光町 2-9-24 広島ロードビル 403
TEL(082)264-7850 FAX(082)261-1912
組合員配布

広島県のゆきとどいた教育をすすめるスタート集会

学費は無償に 奨学金は給付に！ 軍事拡大でなく、子どもと教育にお金を回せ！



「広島県ゆきとどいた教育をすすめる会」は8月31日に教育署名スタート集会を開催しました。「学費は無償に、奨学金は給付に」をテーマとした集会には、教職員、父母、学生等43名が参加しました。事務局の神部泰さん(全教広島副委員長)は、国立大学で学費値上げの動きの原因として、これまで政府がすすめてきた「受益者負担」の方針があると指摘し、国立大学授業料への公的負担は世界でも最低水準であると指摘しました。

続いて、広島大学で授業料値上げに反対するネット署名を集めた「広大学費値上げ阻止緊急アクション」の原田佳歩さんが、「今、学生にできること」と題して特別報告を行いました。原田さんは「声をあげてもいい、声をあげれば変えられる、正しいと確信したことを即行動に移してほしい」とよびかけました。

その後の意見交流では、「奨学金返済のために、生活を切り詰めている同僚もいる。返済を免除する制度をつくってほしい」(公立)。「教員の長時間労働も深刻。私学の学費値上げも検討されている」(私学)。「先生や保護者、学生、卒業生、市民など力を合わせて行動したい」(父母)。「学費値上げ反対のため、署名やアンケート、食糧支援などの活動に取り組んでいる」(青年)。「学費のことだけでなく、人権や平和、気候危機などの問題にも関心をもって取り組みたい」(高校生)などの発言がありました。最後に船石執行委員長は「対話をすすめ署名を集めよう、選挙に行って政治に流れ変えよう」と訴えました。



出された意見や感想…

- 受益者負担主義をどう変えていくのかの世論をつくらなければいけない。広島大学の原田さん、高校生など若い方の発言に未来を明るく感じました。
- 広大の原田さんの活動・行動力に感心、感服しました。講演を聞くとやはりマスコミの力は大きいと感じました。
- やっぱり政治を変えないとダメですね。11月にも総選挙があります。選挙に行って政治の流れ変えなければ…。原田さんの「声をあげてもいい、声をあげれば変えられる」のメッセージを受けとめ、ひろげていきたい。「正しいと確信したことは即行動を」「行動すれば必ず仲間にひろがる…。」すばらしいメッセージでした。
- 大学学費の値上げは他人事ではないと感じた。夢と希望を持って入学したのにお金の問題で諦めるなどあってはならない。これからの日本を支えるのは若者。先生の働き方も問題であることが分かった。
- 今日は大学生を中心として学費の問題について学習できたことはとてもよかった。このような学習を地域でも開催できたらと思います。

署名を12月県議会へ提出します。(12/9最終メ切)